

品種名 スヴニール・ドゥ・ラ・マルメゾン

Souvenir de la Malmaison

系統 ブルボン [B]

作出者 (国) Jean Béluze (フランス)

作出年 1843年

説明 「マルメゾンの思い出」の意味。

マルメゾンは、ナポレオン皇妃ジョゼフィーヌが多くのバラを収集した庭園があった宮殿。

ブルボン系統は、マダガスカル東のブルボン島で発見されたローズ・エドワードを祖とする系統。

四季咲き木立性としての特徴を備えた代表的なブルボンローズで、花付きが良く横張り気味に茂る。

管理はハイブリットティー種などと同様、剪定することを基本にし、デリケートな色彩と美しい花容は見飽きることがない。

甘いブルボン系独特の香りがある。

